

## 第2学年 生活科学習活動案

1. 単元名 「みんな あつまれ やっほいほい」～わくわく〇〇ランド～

2. 活動にあたって

### こんな子どもだから

本学年の子どもたちは、興味・関心をもったことに意欲的に取り組もうとする子が多い。自分の気付きを「話したい、聞いてほしい」と、休み時間や生活科の時間に、意欲的に話せるようになってきている。

1年生の生活科の学習では、地域の「◇◇◇◇農園」で工夫をしながら遊んだり、保育園・幼稚園の年長児を招待したりして、〇〇の「ひと・もの・こと」にかかわってきた。2年生の学習では、通学路を中心に地域での仲良しの人や好きな場所を増やすために探検を行った。下〇〇公園をくり返し探検したり、地域のお寺の住職にインタビューをしたり、〇〇の「ひと・もの・こと」に数多くふれ合ってきている。探検を続けたことで、身近な公園を新たに発見したり、私たちは、地域の方々に支えられていることに気付いたりすることができた。しかし、自分たちで学習をする中で、課題を見つけたり、その課題を解決するために追究したりする学習は、数多く経験していない。

### この単元で

本単元では、「みんなで楽しく遊びたい」という願いを実現するために、自分たちで「わくわく〇〇ランド」を計画し、遊びを作り出したり工夫したりしていく。このランドに学年の友だちやお世話になった人たちを招待することで「〇〇さんと遊びたい。〇〇さんに喜んで欲しい」などの願いが生まれ、課題設定ができると考える。課題追究の中で遊びの制作や遊び工夫の必然性が生まれ、試行錯誤の中から気付きが生むことができると考える。追究してできあがった「わくわく〇〇ランド」の感動を学年の友だちやお世話になった人たちを招待することで、人に楽しんでもらう喜びも感じることができると考える。

また、国語科の教材「あったらいいなこんなもの」で対話する力を学んだことは、この生活科の学習の中で、同じおもちゃの遊びのことを話し合ったりアドバイスをしたりしていく上で効果的であると考えられる。

### こんな支援で

- 子どもたちが意欲的に追究活動を行えるように、「わくわく〇〇ランド」に招待する人を話し合っ決めてさせる。その際、招待したいという願いをもつように、学年や探検でお世話になった人やかかわった他学年との活動が分かるような写真を掲示しておく。
- 子どもたちの追究活動を持続させるために、遊び方やおもちゃづくりの資料・完成した手作りおもちゃも教室に揃えておきたい。
- 学級で作った「わくわく〇〇ランド」を学年全体で交流することで、人々とかかわる楽しさや自分のよさ、友だちのよさに気付かせていきたい。
- 国語科で学習した「あったらいいなこんなもの」の学習のあゆみや既習した話す・聞く力「分かりやすい話し方」「上手なたい話のし方」を壁面に掲示しておくことで、おもちゃづくりや遊び方を話し合う時に、お互いの考えを受けとめたり受け入れたりしやすいようにしておく。

### こんな力を

- 【関・意・態】 友だちや地域の人々と親しみをもってかかわり、知っている遊びや地域行事を参考にしながら、楽しく遊ぼうとしている。
- 【思・表】 身の回りの自然や身近にある物を利用して、友だちと協力して遊ぶ物を作ったり、自分たちの思いを生かした遊びを作り出したりして、楽しく遊ぶことができる。
- 【気付き】 遊びを通してその達成感を味わうとともに、人々とかかわる楽しさや、自分や友だちのよさに気付いている。

3. 主な学習活動と評価規準および教師の支援（14時間）

学習過程 (配時)	主な学習活動と内容 (生かしていく国語科の表現する力)	評価規準 (評価方法)	教師の支援
つかむ (2)	1. どんな会にしたいか計画を立てる。② ○ 会の名称決め ○ 招待する人を決める話し合い ○ 材料集め ○ 学級のシンボルづくり (話題に沿って、知らせたいことをはっきりさせて伝えることができる。)	<b>【関・意・態】</b> 身近なものに関心を持ち、遊びたいことを考えたり、材料をそろえたりしようとしている。 (行動観察)	※ 教室内に子どもたちが意欲を持つような手作りおもちゃを置いておく。 ※ お世話になった人を招待したいという願いをもつように、学年や探検などでお世話になった人やかかわった他学年との活動が分かるような写真を掲示しておく。
さぐる (9)	2. 遊びをつくる。④ ○ 身近な物を使って、グループの友だちとの制作 ○ 作りながら遊んでみての約束・ルールづくり。 3. 学級内で遊びを試す。③ ○ 自分たちの遊びの工夫するところを見つけ (7/14 2の3本時) ○ 遊びの工夫 (8/14 2の1本時) (遊びを作ったり体験したりする中で、友だちの発言を受け止め、思ったことをやりとりしながら進めることができる。) 4. 同学年の友だちとお互いに遊ぶ。② ○ 新しいアイデアを見つけ	<b>【関・意・態】</b> 相手の考えを受け止めながら、みんなと一緒に遊びづくりをしている。 (行動観察) <b>【思・表】</b> 身の回りにあるものを使って、友だちが楽しくなるように約束やルールを考えたり、相手を考えて遊びの道具を工夫して作ったりしている。 (行動観察・発表・学習プリント) <b>【気付き】</b> 遊びを通して、遊びを工夫することの楽しさや約束やルールを守って遊ぶことの楽しさに気付いている。(発表・学習プリント)	※ 参考になるような手作りおもちゃの作り方の資料や写真を教室に掲示しておく。 ※ 学級内で試しの遊びの場を設定することで、みんなと一緒に遊ぶために工夫するところに気付き、より楽しい遊びが広がっていくようにする。 ※ 友だちと協力して作ったり、遊んだりする楽しさを味わえるように、役割分担を話し合う場を設ける。
ふり返る (3)	5. お世話になった人を招待して、「わくわく〇〇ランド」を開く。② ○ お客さんに応じた、遊びの工夫 6. これまでの活動をふり返る。① ○ 遊びの工夫や友だちとの協力の楽しさ (自分の工夫や楽しさを相手に伝え、友だちの考えを意欲的に聞くことで、友だちのよさや自分のよさの違いに気付くことができる。)	<b>【思・表】</b> 遊びを工夫して作ったり、友だちと協力して楽しく遊んだりしたことを文章に書くことができる。 (学習プリント) <b>【気付き】</b> 遊びを通して、友だちのよさや自分との違いに気付いている。 (学習プリント)	※ お客さんが変わっても今までと同じようなルールでいいのかを考えることで、お客さんに応じた遊びを工夫することができるようにする。 ※ これまでの活動の自分や友だちの頑張りや、みんな遊ぶことの楽しさをふり返られるように、活動の写真を掲示したり、学習プリントをふり返ったりする。

## 4. 2年組本時(7/14)

### 5. 本時目標

- 学級内でお互いに遊びを試して、感想を発表し合うことで、みんなで一緒に遊ぶために工夫していくところを見つけることができる。【思・表】

### 6. 本時指導の考え方

本時までには子どもたちは、「お世話になった人を『わくわく〇〇ランド』に招待して一緒に楽しみたい。」という願いをもち、遊びの計画を立てて、友だちと協力をしながら遊びをつくってきた。子どもたちは、同じグループの友だちと遊びながら道具を作ったり、約束やルールを考えたりしてきたが、その遊びは自分たちが楽しむことにとどまっており、まだ十分にみんなと一緒に楽しめるものになっていない。

そこで本時では、子どもたちが自分たちだけで楽しんでいた遊びを工夫して、みんなで楽しめる遊びにしていくために、自分たちの遊ぶ道具、約束やルールで工夫していくところを見つけることをねらいとしている。そのために、学級内でお互いに遊びを試す場を設定し、遊びの中で見つけた感想を発表し合うことで、子どもたちはお互いの遊びの工夫していくところに気付くことができると考えられる。

まず、これまでにグループごとに考え、つくってきた遊びを掲示物をもとにふり返り、本時のめあてをつかませる。

次に、それぞれの遊びを試してみる。遊んでいる子が、友だちの遊びに対して、楽しいと思った「よかったところ」やもう少しこうしたらいいと思った「アドバイス」を書くことができるように、「よかったところ」はピンク色、「アドバイス」は黄色の感想カードを準備しておく。感想を書けていない子どもに対しては、T 1・T 2で担当するグループを決めておき、子どものつぶやきを感想にいかせるように支援していく。

遊んだ後に、全体で集まり感想を発表し合う。感想を発表するとき、各グループへの感想が出てこなかった場合には、各グループへの感想を活動の中で見取っておくことで、意図的に指名をしたり、教師が見つけた感想を伝えたりして支援していきたい。そして、「よかったところ」と「アドバイス」を分けて板書することで、工夫していくことがはっきり分かるようにしておく。さらに、学年の友だちやお家の人を招待することを学習計画をもとにふり返ることで、子どもたちが、友だちからのアドバイスをもとに、みんなと一緒に遊ぶための工夫をすることに必要感をもてるようにしたい。

感想を発表し合った後に、各グループごとに分かれて、工夫していくことや必要なものを話し合う。本時で見つけた工夫を整理したり、必要な道具や材料を話し合わせたりすることで、次時に向けての自分たちの課題をもたせ、もっと楽しい遊びをつくりたいという意欲をつなげていきたい。話し合う際には、友だちからの「アドバイス」について見直すことに合わせて、遊ぶ中で自分たちが困ったこともふり返るように助言する。また、工夫していくことやそのために必要な道具や材料がはっきりと分かるように、学習プリントに書かせておく。最後に話し合ったことを、各グループごとに発表させ、次時の活動への意欲をもたせたい。

この学習では、国語科の「あったらいいなこんなもの」の学習で学んだ順序を考えて話すことや観点をはっきりさせて話すことを生かして、遊び方を順序よく、声の大きさを考えて説明したり、何について話すのかをはっきりさせて感想を伝えることができるように、掲示物をもとに想起させたい。

### 7. 準備

(児童) 筆記用具

(教師) 学習カード(よかったところ…ピンク, アドバイス…黄色), 掲示ボード, 学習プリント

8. 本時学習の展開

主な学習活動と内容	教師の支援
<p>1. これまでの学習をふり返り，本時めあてをつかませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちの計画や遊びの制作の想起</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて クラスの友だちにあそんでもらって，あそびが楽しくできるかためしてみよう。</p> </div> <p>2. お互いの遊びを試してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 約束やルールの説明</li> <li>○ 交代しながらの遊び</li> <li>○ 感想の記入           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ピンクのカード…よかったところ</li> <li>・ 黄色のカード…アドバイス</li> </ul> </li> </ul> <p>3. 感想を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遊びのよかったところや工夫していくところへの気付き</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 25%;"> <p>途中道が分かれているところをよく作っていたね。壁が壊れていたから，壁をもっと強くしたらいいね。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 25%;"> <p>ボールがどこに当たっているかよくわからなかったな。まともっと大きいとわかりやすくなると思います。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 25%;"> <p>ボールが入るところが上手に作ってあったね。でも，ボールが当たってすぐに壊れていたので，もっと丈夫にしたらいいよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 25%;"> <p>ボーリングのピンが壊れないようにしっかりと作ってあったと思います。2回しか投げられなかったから，もう少したくさんできたらよかったな。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 25%;"> <p>わかかを投げるところが近すぎたと思うよ。投げるところを，もっと遠くしてもいいと思います。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 25%;"> <p>釣る人がたくさんいて，やりにくかったな。もう少し人が少なくてもいいと思うよ。</p> </div> </div> <p>4. グループごとに工夫するところを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工夫するところ（アドバイス，困ったところ）</li> <li>○ 必要なもの</li> </ul>	<p>※ 前時までの活動を掲示しておき，これまでの活動をふり返りやすいようにする。</p> <p>※ T1・T2で担当するグループを決め，子どもたちのつぶやきを細かく把握し，感想を書けない子には，遊んでいた時のつぶやきを想起させ支援していく。</p> <p>※ グループへの感想を見取っておき，各グループのいいところやアドバイスが発表し合えるように意図的に指名していく。</p> <p>※ アドバイスされたことがはっきりと分かる板書にしておき，自分たちの遊びをもっと楽しくしていく必要感をもたせる。</p> <p>※ よりよい工夫ができるように，アドバイスに加えて，自分たちが困ったこともふり返るように助言する。</p> <p>※ 話し合ったことを各グループごとに確認することで，次時の活動への意欲へとつなげる。</p>
<p><b>評価規準</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>【思・表】みんなで一緒に遊ぶために工夫していくところを見つけることができる。(学習プリント)</p> </div>	
<p>5. 本時の学習をふり返り，次時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次時のめあての確認           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「お家の人がもっと楽しくあそぶことができるようにあそび方をくふうしよう。」</li> </ul> </li> </ul>	<p>※ 板書をもとに本時学習をふり返り，次時への見通しをもたせる。</p>

## 4. 2年 組 本 時 (8/14) 生活科ルーム

### 5. 本時目標 (評価の観点)

- 作った物で実際に遊んでみたことで気付いた改良点をもとにして、おもちゃやゲームを作り直したり、遊ぶ人のことを考えてルールを作ったり工夫をしたりすることができる。【思・表】

### 6. 本時指導の考え方

本時までには、子どもたちは学級内で行った「わくわく〇〇ランド」で遊んだ経験を通して、楽しかったことや困ったことを整理することができている。しかし、本時めあて「お家の人が『もっと』楽しく遊ぶことができるように」という『もっと』の具体的な観点をはっきりともっている子どもたちは少なく、意欲だけもっている子どもたちもいる。

本時では、自分たちが作りだした遊びやおもちゃを、遊ぶ人のことを考えて楽しく遊べるように改良することをねらいとしている。『もっと』楽しくという観点をはっきりとさせ、各活動グループごとに遊びを試しながら製作していく交流活動を仕組みば、本時のねらいを達成できると考えている。

まず、前時の活動をふり返り、本時のめあてのつかませる。その際に、学級内の遊びで楽しかったことや工夫したことが明確になるような掲示物を作成しておく。事前に子どもたちの考えを、おもちゃ自体の工夫と、ルールの工夫との2つの観点を整理しておく。このことで、自分たちにどの観点が必要なのか、どの工夫が自分たちに生かせるのかははっきりともたせることができると考える。また、個々の子どもたちの学習プリントや行動、対話から子どもたちの願いを把握しておくことで、声かけ等の支援ができるようにしておく。

次に、各活動グループごとに活動する場所を固定することで、リーダーを中心に共通の目的をもって、話し合ったり作り直したりすることができると考えている。また、共通の材料や必要な道具について、子どもたちと話し合いながら学級で集めていくことで、「1組のわくわく〇〇ランド」という学級意識を高めることができる。自分たちで活動時間を考えて行動できるように、本時の活動スケジュールを子どもたちに提示しておく。

最後に、活動を通して解決したことや、残された課題について各グループごとに発表させ、次時の活動への意欲をもたせたい。





この学習では、国語科「あったらいいなこんなもの」における「上手な対話のしかた」を活動場面で活用することで、グループごとの話し合いが活発なものになっていくと考える。国語科でつけた力を有効に活用できるように、国語科の学習のあゆみも側面に掲示するなど支援していきたい。

### 7. 準 備

(児 童) 前時までの学習プリント、はさみ、のり、セロハンテープ、粘着テープ、新聞紙、その他製作に必要な物

(教 師) ダンボールカッター、カッターナイフ、画用紙、子どもたちと集めた材料、前時の活動の写真、学習プリント (ふり返りカード)  
分かりやすい話し方、上手な対話の仕方 (掲示資料)  
本時の活動スケジュール、カッターの使い方の約束

8. 本時学習の展開

主な学習活動と内容	教師の支援
<p>1 これまでの学習をふり返り、本時のめあてをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ おもちゃ、ルール of 工夫</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>めあて</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お家の人が、「もっと」楽しくあそぶことができるようにあそび方をくふうしよう。</p> <p>2 前時活動のプリントをもとにして各活動グループごとに改良する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料の場所、安全な道具の使い方の確認           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダンボールカッターの使い方</li> <li>・ 使用した後の片付け方</li> </ul> </li> <li>○ 後片付けと終了時間の確認</li> <li>○ 活動グループでの話し合いと改良</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>すぐ、つりざおの糸がもつれちゃうんだよね。つりざおの糸が、もつれないように片付け方も考えたらいいかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>前は、1回しかできなくてすぐ終わっちゃったから、一人3回したら、もっと、楽しくなると思うよ。</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>待ち時間が長かったって書いてあるよ。だから、時間を決めたらいいと思う。3分間とかいいかな。ストップウォッチが必要だね。いくついるかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大人と子どもで投げる場所をかえたらどうかな。</p> <p>いいねえ。子どもは力がないから前の方で、大人は少しはなれたらどう？</p>  </div> <p style="text-align: center;"><b>評価規準</b></p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【思・表】 もっと楽しく遊ぶために、観点を考えておもちゃを改良したり、ルールを作ったりすることができる。(行動観察・ふり返りカード)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 前時までの活動を写真や子どもたちが気付いた遊びの楽しさをまとめた資料を掲示しておき、活動の見通しをもたせておく。</li> <li>※ 遊びを試しながら、付加修正できるように、遊びが試せるようなスペースを準備しておく。</li> <li>※ ダンボールカッターなどの道具が安全に使えるように、使い方について分かるように子どもたちと学習した約束を作成場所から見える場所に掲示しておく。</li> <li>※ 材料と道具の置き場所とゴミの分別場所を明確にすることで片付けがスムーズにできるようにする。</li> <li>※ 話し合いがスムーズに進むように、国語と同様にリーダーを中心に活動させる。</li> <li>※ グループの達成状況が、ひと目で分かるように、遊び方の工夫が完了したら、マークを貼れるようにしておく。</li> <li>※ 各活動グループの本時の思いを学習プリントや事前の対話によって支援補助簿を作成し、個に応じた支援ができるように準備しておく。</li> </ul>
<p>3 本時の学習をふり返り、次時のめあての確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体交流           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工夫したこと</li> <li>・ できなかったこと</li> </ul> </li> <li>○ 活動カードの記入</li> <li>○ 次時のめあての確認           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「2年生わくわく〇〇ランド」で楽しもう！</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 活動状況を各グループごとに確認することで、次時の活動への意欲へとつなげる。</li> </ul>